

# 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
59	岐阜県立高山工業高等学校

学校教育目標	確かな学力、健やかな身体、豊かな心を育み、社会の変化に対応可能な揺るぎない知識や技術で、地域の将来を担うエンジニアリーダーを育成します。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	○自信と誇りを身に付け、自分で考えて行動し、向上心を持って技術で地域社会を支える生徒 ○他者を尊重し他者と協働して、良好な人間関係を築き、社会から信頼される生徒 ○地元を愛し、積極的に課題解決に取り組み、地域や社会に貢献できる生徒	○課題を発見し解決する力を育成するための「基礎的・主体的」な学びの推進 ○地域素材や地域資源を生かし、地域と連携した「体験的・実践的」な学びによるキャリア教育の充実 ○生徒一人ひとりの個性を伸ばし、ものづくりを通じた専門的な学習による「先進的・探究的」な学びを実現するカリキュラムの編成と、個に応じたきめ細やかな指導の実施	○ものづくりに興味があり、仲間と協力しながら共に知識を深め技術を高める意欲のある生徒 ○自ら将来を切り拓く目標を探り、その実現に向かって積極的にチャレンジする生徒 ○専門性を生かした地域と連携した活動、生徒会活動や部活動等に積極的に参加し、活気ある学校を築こうとする意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 ICTや観点別評価を活用した授業改善に努めるとともに、生徒一人一人の学習意欲を喚起し、主体的な学習態度の育成に努めます。また、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。	<p>① 学習意欲を喚起し、基礎的・基本的な技術・技能の定着を図る学びを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業週間を設定し、全職員による公開授業と授業参観の実施</li> <li>ICT環境を活用した、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びの実践</li> <li>観点別評価を用いた指導と評価の一体化からの授業改善の推進</li> <li>少人数・習熟度別授業の実施や1年ステップアップ講座（数）、2～3年ハイレベル講座（英・数）の実施</li> </ul> <p>② コミュニケーション能力と問題解決能力を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携を通したふるさと教育を推進し、学校活性化事業においてプログラミング出前授業や新商品開発等の協働的で探究的な活動を実施</li> <li>学科横断科目「デザイン実践」によるSTEAM教育実施に向けた準備</li> </ul>		<p>①・授業アンケートの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の結果</li> <li>課題等の取組状況</li> <li>生徒実態調査</li> </ul> <p>②・地域連携事業の評価と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業実施状況</li> <li>生徒へのアンケート結果</li> <li>参加者へのアンケート結果</li> </ul>
2 倫理観や規範意識を醸成し、主体的に判断・行動できる能力を育成します。	<p>① 規範意識の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会主導による挨拶運動、共通理解に基づく身だしなみ指導、外部講師による情報モラルや安全・衛生指導を通した自己指導能力の育成</li> </ul> <p>② 個に応じたきめ細かな指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修、生徒指導委員会等による生徒情報の組織的共有</li> <li>スクールカウンセラー等の外部専門家や機関の知見を取り入れた組織的対応の実施</li> <li>個別の教育支援計画、生徒面談週間、心理検査の活用</li> </ul>		<p>①・身だしなみ指導の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迷惑調査の結果</li> <li>生徒の出欠状況</li> </ul> <p>②・担任等との面談状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケース会議等の実施回数</li> <li>外部専門家の派遣要請回数</li> </ul>
3 体験的・実践的なキャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるよう指導の充実を図ります。	<p>① 専門的スキルを向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度な資格取得の推進、外部人材を積極的に活用した指導、ものづくりコンテスト等に向けた技能、発想の向上</li> </ul> <p>② キャリアプランニング能力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア・パスポートの活用、地元進路先等見学会、各学年における企業見学等の推進、卒業生と語る会の実施、進路先研究の徹底、インターンシップの実施</li> </ul>		<p>①・資格の取得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりコンテスト等の成績</li> </ul> <p>②・企業見学実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生と語る会の実施結果</li> <li>卒業生の追跡調査や企業での評価状況</li> </ul>
4 地域社会に貢献できる人材の育成に努め、地域や各種関係団体等と緊密に連携すると共に、職員の働き方改革を進め一層開かれた学校づくりを推進します。	<p>① 社会貢献活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術を生かした地域への貢献（市教委、小中学校、地域施設との活動）</li> <li>生徒会や部活動等による主体的なボランティア活動の企画・運営</li> </ul> <p>② 広報活動を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校への広報の充実、学校説明会、学校紹介動画の配信、地域社会（保護者等）への積極的広報活動（ホームページ、新聞、自治会回覧等）</li> </ul> <p>③ 職員の働き方改革を確実に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル活用による業務効率化の推進</li> </ul>		<p>①・活動の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関での掲載件数</li> </ul> <p>②・本校への志望状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育週間等における来校者数</li> <li>HPの更新数</li> <li>自治会への情報提供回数</li> </ul> <p>③・確実な出退勤の記録と時間外業務の削減</p>